

第1章 2025年度事業報告

概要	-----	1
1 活動報告	-----	1
2 会議・会合	-----	4
3 会員	-----	7
4 表彰	-----	8
5 粉体工業展	-----	9
6 常置委員会	-----	12
7 分科会	-----	21
8 粉体工業技術センター	-----	29
9 技術情報交流懇話会	-----	30
10 共催・協賛及び後援行事	-----	31
11 刊行物	-----	32

第1章 2025年度事業報告

自 2025年4月1日

至 2026年3月31日

概要

我が国の2025年10～12月期の実質GDP成長率は、前期(7～9月)比0.3%増とプラスに転じ、日銀短観でも企業の景況感は底堅く推移しました。輸出や設備投資が景気を下支えする一方、物価上昇の影響により個人消費を中心に内需に弱さがみられ、人手不足や海外経済の不確実性もあって、景気の回復は緩やかなものにとどまっています。

このような状況下、当協会では、2025年10月15日(水)～10月17日(金)、インテックス大阪において、POWTEX2025(国際粉体工業展大阪2025)を開催しました。新企画「イチオシ！」など多彩な併催行事を実施した結果、期初の目標を上回る収益を得ることができました。協会の会員数は、2026年3月末で426(2025年3月末424)となりました。

一方、当協会では2025年度からスタートしました「第4期中期運営計画(2025～2027年度)」に沿って活動を行い、その初年度として、期初に計画しました方針および予算に基づき事業計画を遂行しました。

以下に2025年度事業の概要を報告します。

1.活動報告

1-1 調査・研究事業(分科会、分科会運営、技術)

合計20の分科会が、延べ53回(合同8回)の分科会本会合を開催し、64回の幹事会を開催しました。本会合参加者総数は、2,164名となり、各分科会が、活発な幹事会議論をもとに施設見学会を中心に、趣向をこらした見学会や講演会を積極的に実施しました。今年度は、多くの分科会において見学会・講演会後に懇親会が開催され、参加者相互の交流が一層深まりました。粉体ハンドリング分科会は、通算200回目の節目となる分科会を開催しました。

教育部門では、単位操作・常置型分科会が中心となり、7回の粉体技術者養成講座が開催され、混合・成形分科会計画の専門講座が「混合・成形プロセスの自動化とAI、IoTの活用」をテーマとして2月に開催されました。

技術委員会の活動では、AI技術利用委員会がPOWTEX2025において、「ものづくりにおけるAIの活用」をテーマにAI技術利用セミナーを開催し、データサイエンス・AIの専門家から、次世代通信や創薬・医薬へのAIの応用に関する研究成果の発表がなされました。AIの幅広い工学への応用の可能性が感じられる講演となりました。

また、POWTEX2025では、主催者コーナーに、20分科会がロードマップおよび活動状況のポスター展示を行いました。併催イベントとしては、「粉体機器ガイダンス」を開催し、集じん分科会および混合・成形分科会が機器選定などの概要説明と機器紹介を行ないました。

1-2 広報・普及事業(総務、「粉体技術」誌編集、産学官連携、総覧発行、セミナー・フォーラム)

(1) セミナー・フォーラム

POWTEX2025の併催行事として、PXフォーラム、各種セミナー、粉体機器ガイダンスなどを開催しました。POWTEX2025の開催テーマ「未来をつくるPX(Powder-technology Transformation)～粉体技術で描く未来社会のデザイン～」に関連した「PXフォーラム」、「PXステーション」、粉体の基礎を分かりやすく解説する「粉体工学入門セミナー」など、多彩なテーマで開催し、多数の参加者を得て、技術情報の提供や協会活動の広報・普及に努めました。

PXフォーラム

- ・粉体技術で広がる医薬品の未来:乾燥技術の新しい可能性
- ・次世代エネルギー材料の挑戦:持続可能な未来を創る
- ・美の未来を拓く化粧品を支える粉体技術

PXステーション

- ・注目業界PX「電池製造」「食品・医薬品・化粧品製造」「電子材料、セラミックス」
- ・出展社によるイチオシ！プレゼンテーション

粉体機器ガイダンス

- ・集じん
- ・混合・成形

粉体工学入門セミナー

粉じん爆発情報セミナー

海外情報セミナー
AI 技術利用に関するセミナー「ものづくりにおける AI の活用」
粒子径計測入門セミナー
粒子特性評価 JIS/ISO 規格の最新動向

(2) 技術情報の発信

各種技術情報は分科会会合や専門講座、セミナー、フォーラム、粉体工業技術センター 教育部門の講座を通じて発信されていますが、ホームページ、メールマガジンおよび月刊誌「粉体技術」も重要な発信源となっています。

なお、協会ホームページ会員専用サイトにおいて、「粉体技術」誌の PDF 版掲載を継続しています。

ホームページ平均アクセス(ページビュー)数: 33,644 件/月(前年度 34,071 件/月)

メルマガの平均発信数: 66,479 件/月(前年度 63,859 件/月)

(3) 産学官連携

産学技術交流推進部門では、POWTEX2025 の併催イベントとして、2025 年 10 月 16 日に APPIE 産学官連携フェア 2025 を開催しました。大学・高専や研究機関における幅広い分野の粉体研究者から 30 件のシーズを募り、産業界からのニーズ参加者は 50 名でした。なお、PX シーズ賞 3 件を選び、2026 年度に POWTEX2026(第 46 回国際粉体工業展)にて「PX シーズ賞受賞記念特別講演会」を実施する予定です。また、APPIE 産学官連携フェアに引き続き、テクノマルシェ～名刺交換会～を開催しました。

(4) 技術相談

POWTEX2025 では「技術相談コーナー」を開設し、3 日間で 18 件(前回、2023 年は 31 件)の相談を受け付けました。また、産学技術交流推進部門では、ホームページ上で技術相談を受け付けており、2025 年度は 31 件(2024 年度は 37 件)でした。

(5) 粉体技術総覧 2024/2025 の配布

粉体関連機器や技術に関するガイドブック「粉体技術総覧 2024/2025」冊子を、会場において来場者に無料で配布し、キーワードで製品やメーカーを検索できる WEB 版も継続開設しました。

1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

粉体工業分野における粉体技術の継承、専門技術者の育成と継続的教育および粉体工業に関係する人材のスキルアップを目的として、2025 年度は以下の講座、セミナーを開催しました。また、入門レベルを修了した後、さらなる専門性を追求するためのスキルアップ講座として、粉体入門セミナー I の内容をさらに深めた新講座「粉体基礎講座」を 2026 年度より開講することを決定しました。

- ・粉体入門セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)
- ・粉体技術者養成講座(7 講座)
- ・粉体技術専門講座(混合・成形分科会)
- ・粉じん爆発・火災安全研修(初級基礎編)【ハイブリッド】

開催回数は 12 回であり、総参加者数は 425 名(前年 511 名)でした。

1-4 規格・標準化事業(標準粉体、規格、粉じん爆発)

・標準粉体委員会

MBP(JIS Z 8900-1)3-30 粒子の認証書作成のための認証方法の検討と準備を進めました。また標準粉体のラウンドロビンテストについてテストスケジュールなどを決定しました。JIS 試験用粉体 1-8 種関東ロームについては、JIS 規格相当品の検討を開始しました。

・規格委員会

ISO、JIS および協会規格(SAP)の管理や規格開発に関する情報収集を行います。今年度は、協会規格 SAP05-98「粉体の仕様表示方法に関するガイドライン」の改正を完了しました。また、3 件の JIS 原案を JSA に提出し、現在 4 件の JIS 原案を作成中です。

・粒子特性評価委員会

経済産業省委託事業として、第 68 回 ISO/TC24/SC 4 国際会議(Web)に 15 名(4 月開催)参加するとともに、イギリスで開催された第 69 回国際会議(9～10 月開催)に現地 10 名、Web5 名の委員が参加し、提案した規格文書類の作成を進めました。

・ふるい委員会

ふるいに関する ISO 国際標準化活動に参画する一方、ISO/TC24/SC8 の国内審議団体として委員会(2

- 月)を開催し、規格文書作成が迅速に進むよう努めました。
- ・集じん技術委員会
経済産業省委託事業として、イタリアで開催されたISO/TC142の会議(9～10月開催)に現地1名、Web2名の委員が出席し、国際標準化活動を実施した結果、「ファン搭載パルスジェット払い落とし集じんシステムの性能評価試験法に関するISO規格」の承認に至りました。
- ・粉じん爆発委員会
粉じん爆発・火災安全研修(初級)をハイブリッド形式にて実施しました。また、POWTEX2025で粉じん爆発情報セミナーを実施しました。

1-5 海外交流事業(海外交流)

3カ国(日本・ドイツ・台湾)の講師陣による、電池分野の海外情報セミナーをPOWTEX2025において開催しました。

海外行事関連では、下記の海外展示会が開催されました。

- ・KOREA CHEM 2025(韓国、4/22-25)ウェブサイトやメルマガへのバナー・ロゴ掲載を行いました。
- ・IPBS 2025(米国、4/29-5/1)協会ブースに会員企業2社と隣接する形で3社合同の出展を行いました。入会促進やPOWTEXに関するポスターを掲示するとともに、来場者からの協会およびPOWTEXに関する質問に対応しました。
- ・IPB 2025(中国、8/6-8)共同出展ブース Japan Pavilionを設置し、初出展2社を含む会員企業6社が出展しました。ブースでは広告掲載やポスター展示を行い、入会希望やPOWTEXへの出展希望者への対応を行いました。また、開会式では海外パートナーとして副委員長が祝辞を述べたほか、協会および Japan Pavilion 出展社による企業・製品技術紹介もセミナー会場にて実施しました。
- ・A-Powder Tech 2025(韓国、8/27-29)ウェブサイトへのバナー掲載や展示会ガイドブックへの広告掲載を行いました。
- ・POWTECH TECHNOPHARM 2025(ドイツ、9/23-25)協会ブースを出展し、共同出展社とともに来訪者に入会案内・協会活動・POWTEXの紹介を実施しました。また、欧州のバルク&粉体工業会との会議や同時開催イベントのパートナー団体との意見交換会などにも参加しました。

1-6 展示会事業

POWTEX2025は、リアル展示会とオンライン展示会を併設するハイブリッド方式で開催しました。(2021年より継続)開催テーマを「未来をつくるPX(Powder-technology Transformation)～粉体技術で描く未来社会のデザイン～」とし、展示会場内に「PXステーション」を設け粉体技術について分かり易く発信しました。また、新たな試みとして「イチオシ！」企画を実施し、出展社がブースおよびオンライン上で、来場者に最も注目してほしい粉体技術の製品・技術に「イチオシ！」表示を行いました。そのほか、PXフォーラムをはじめさまざまなイベントを開催しました。

- ・開催期間:2025年10月15日(水)～17日(金)
オンライン展示会:2025年10月1日(水)～11月14日(金)
- ・開催場所:インテックス大阪(南港)4・5号館
- ・開催規模:203社・団体/638小間(前回:172社・団体/515小間)
- ・来場者:リアル展8,429名 オンライン展3,706名(前回:リアル展7,757名 オンライン展3,392名)

1-7 標準粉体製造頒布事業(製造事業部門)

売上高92,467千円(予算比100.5%、前年度比100%)、利益(収支差)24,834千円(予算比94.6%、前年度比102.9%)となりました。また今年度はSDSの全面的な見直しを行うとともに、ホームページからダウンロード可能となるよう整備しユーザー利便性を図りました。

1-8 会員共益事業(技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成)

- ・技術情報交流懇話会
火曜会(東京4回)、水曜会(名古屋3回)、木曜会(大阪3回)、金曜会(福岡2回、広島1回)、合計13回925名(前年873名)の参加がありました。
- ・推薦審査委員会
分科会功労賞、分科会技術賞、委員会・部門功労賞、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者賞の審査結果および個人会員・名誉個人会員・会友の入会審査結果を会長に答申し理事会で承認されました。
- ・人材育成委員会
若手のつどいは、4回開催しました。参加者は合計103名でした。
また、POWTEX2025の併催イベントとして、「学生ツアー」を2025年10月15日に開催しました。参加者は48名(企業24名、学生24名)でした。

2. 会議・会合

2.1 第 44 回定時総会

日 時:2025 年 5 月 27 日(火) 開始午後 1 時 30 分

場 所:東京ガーデンパレス 2 階 高千穂の間 (東京都文京区湯島 1-7-5)

出席者:出席正会員総数 303 名 (出席:35 名、委任状提出者: 268 名) (正会員総数:417 名)

定刻午後 1 時 30 分に、当協会定款第 15 条に従い、角井寿雄代表理事会長が議長となり、開会を宣言し、議事に入った。

前田専務理事より、2025 年 5 月 27 日現在、当協会の議決権を有する正会員総数は 417 名(議決権総個数 417 個)に対し、当日出席正会員(委任状によるものを含む)35 名(当日議決権個数 35 個)、議決権行使書面提出者 268 名(書面議決権行使個数 268 個)、合計 303 名(議決権総個数 303 個)となり、出席者数は当協会定款 17 条 1 項に定める定足数、すなわち過半数の出席を得ていることにより、本総会が有効に成立する旨の報告があった。

引続き、議案書に基づき、報告事項 2 件と決議事項 1 件の議案審議に入った。

報告事項1:2024 年度事業報告ならびに 2025 年度事業計画および予算

題記の件につき、前田孝善専務理事より、第 44 回定時総会資料に基づき夫々説明があった。2024 年度事業報告については、同総会資料 1 頁“第 1 章 2024 年度事業報告”に基づき、5 つの公益事業(調査・研究事業、広報・普及事業、人材育成・教育事業、規格・標準化事業および海外交流事業)と、3 つのその他事業(展示会事業、標準粉体製造頒布事業および会員共益事業)の報告があった。さらに、法人会員数の推移の説明と、2024 年度末時点での法人会員数 347 社との説明があった。

2025 年度事業計画については、同総会資料 43 頁“第 3 章 2025 年度事業計画”に基づき、第 3 期中期運営計画(2022 年～2024 年)に続き、「第 4 期中期運営計画(2025 年～2027 年)」策定し、3 つの重点活動目標は、I)会員企業の満足度向上(分科会、各種セミナー、粉体工業展などの進化)、II)協会知名度の向上(広報普及活動の強化など)、III)運営の強化(組織および人材など)について説明があった。続いて経常費用の実績と予算の推移と、協会全体税引後当期利益の実績と予算に説明があった。

報告事項2:2024 年度計算書類などに関する監査結果報告

山田利博監事より、監査報告があり 2024 年度における業務および財産の実施状況について監査を行なった結果、同総会資料 39 頁に基づき、法令および定款に反する重大な事実は認められず適正であった旨の報告があった。議長より、報告事項 1 および 2 について質疑を求めたところ、出席者からの意見、質問はなく報告どおり了承された。

決議事項

第 1 号議案:2024 年度正味財産増減計算書および貸借対照表の承認

題記につき、前田孝善専務理事より、2024 年度貸借対照表および正味財産増減計算書の承認の件について、第 44 回定時総会資料 34 頁～42 頁の“第 2 章 2024 年度決算報告(案)”に基づき説明があった。正味財産増減計算書(34 頁)において、経常収益は 538,671 千円、経常費用は 499,035 千円となり、税引き後当期一般正味財産増減額は 39,496 千円(対予算比で 28,905 千円)になり、その結果、正味財産期末残高は 549,092 千円となることが説明された。

貸借対照表(35 頁)の通り、資産は前年度比で 52,122 千円増、負債は前年度比で 12,826 千円増、その結果負債および正味財産合計は前年度比で 52,122 千円増となることが説明された。

2025 年度予算については、同総会資料 59 頁“第 4 章 2025 年度予算”に基づき、経常収益は 410,563 千円、経常費用は 452,005 千円、および当期正味財産増減額は税引き後 41,582 千円の減益を見込んでいることが報告された。

これらの説明に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 1 号議案は原案通り承認可決された。

以上で、第 44 回定時総会の議事はすべて終了し、午後 2 時 15 分に議長は閉会を宣言した。

引き続き、午後 2 時 40 分から協会賞および細川明彦・佐知子基金による粉体工業展賞の授賞式、ならびに粉体工業功績者表彰式が行われ(8 頁、4. 表彰を参照)、午後 3 時 40 分からは特別講演が行われた。

演題 脱炭素の論点 2025～進行する気候過酷化と GX の課題～

講師 東京農工大学名誉教授 (一社)共生エネルギー実装研究所 所長 堀尾正靱氏

2.2 理事会

第 1 回理事会

日 時: 2025 年 5 月 15 日(木) 14:00～16:30

場 所: ANA クラウンプラザホテル大阪(3階 飛鳥の間)・Web 会議
出席者: 角井寿雄会長、内藤牧夫・三宅康雄各副会長含め
理事 27 名、監事 3 名、特別顧問 1 名、顧問 1 名 合計 32 名
事務局: 東京事務所長 1 名、経理課長 1 名、総務課長 1 名

議 事:

第 1 号議案: 入、退会会員

第 2 号議案: 委員会の人事変更

第 3 号議案: 2024 年度事業報告、決算報告および監査報告

第 4 号議案: 2025 年度事業計画と中期運営計画の確認

第 5 号議案: POWTEX の業務委託契約

報告事項 1: 委員会アドバイザーおよび分科会名誉コーディネータの就任

報告事項 2: 協会メールマガジン配信システムのリニューアル

報告事項 3: 共催、協賛および後援行事

報告事項 4: 東京事務所長代理の就任(6月1日付)

その他

第2回理事会

日 時: 2025年8月5日(火)13時30分～15時40分

場 所: 東京ガーデンパレス (2階: 高千穂の間)・Web 会議

出席者: 角井寿雄会長、内藤牧夫・三宅康雄各副会長含め

理事21名、監事3名、特別顧問1名、顧問1名 合計26名

事務局: 東京事務所長 1 名、総務課長 1 名

議 事:

第 1 号議案: 入、退会会員

第 2 号議案: 分科会の人事変更

第 3 号議案: POWTEX@2026 における出展料の改定

第 4 号議案: 協会規程「11-4 協会コーポレートアイデンティティに係わる指針」の一部改定

第 5 号議案: 協会職員および常勤役員の給与改定

報告事項 1: POWTEX2025 の予算

報告事項 2: 「粉体入門セミナー1(発展編)」の新設

報告事項 3: 共催、協賛および後援行事

報告事項 4: 特別協賛会費の申込み状況

報告事項 5: 2026 年度協会主要行事日程

報告事項 6: ニュルンベルクメッセとの相互協力契約締結

報告事項 7: JAPAN PACK 2025 との展示ブース交換に関する覚書締結

報告事項 8: INCHEM TOKYO 2025 との展示ブース交換に関する覚書締結

報告事項 9: 分科会名誉幹事の就任

その他

第3回理事会

日 時: 2025 年 11 月 20 日(火)午後 1 時～午後 2 時 50 分

場 所: ホテルグランヴィア京都(3階 古今の間)・Web 会議

出席者: 角井寿雄会長、内藤牧夫・三宅康雄各副会長含め

理事 28 名、監事 3 名、特別顧問 1 名、顧問 1 名 合計 33 名

事務局: 東京事務所長 1 名、総務課長 1 名

議 事:

第 1 号議案: 入、退会会員

第 2 号議案: 委員会の人事変更

第 3 号議案: 2025 年度分科会功労賞、委員会・部門功労賞の選考

第 4 号議案: POWTEX2026(国際粉体工業展東京 2026)に係わる(一社)粉体工学会との覚書締結

第 5 号議案: (一社)粉体工学会主催行事への共催支援金拠出

第 6 号議案: 2026 年度協会主要行事日程

報告事項 1: 共催、協賛および後援行事

報告事項 2: 「粉体技術」記事の一般公開

報告事項 3: SAP05-98:2013「粉体の仕様表示方法に関するガイドライン」の改正

報告事項 4: 2026 年度新個人会員の推薦募集および入会審査のスケジュール

報告事項 5: 2025 年度分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議の開催

報告事項 6: 海外粉体工業展の開催予定

報告事項 7:ワールドインシュアランスエージェンシーPL 保険および E&O 保険の募集
報告事項 8:代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告

第 4 回理事会

日 時:2026 年 3 月 12 日(木) 午後 2 時 00 分～午後 4 時 10 分

場 所:ホテルグランヴィア京都(3階 源氏の間)・Web会議

出席者:角井寿雄会長、内藤牧男・三宅康雄副会長含め

理事 24 名、監事 2 名、特別顧問 1 名、顧問 1 名 合計 28 名

事務局:東京事務所長 1 名、経理課長 1 名

議 事:

第 1 号議案 入、退会会員

第 2 号議案 委員会および分科会の人事変更

第 3 号議案 2026 年度の JIS 原案作成委員会設置

第 4 号議案 2026 年度の受託事業

第 5 号議案 協会賞受賞者、粉体工業功績者および細川明彦・佐和子基金による粉体工業展賞受賞者の選考

第 6 号議案 2026 年度予算考

第 7 号議案 第 45 回定時総会

報告事項 1 共催、協賛および後援行事

報告事項 2 POWTEX2025(国際粉体工業展大阪)の決算報告

報告事項 3 POWTEX2026(国際粉体工業展東京)の計画

報告事項 4 委員会アドバイザーの延長

報告事項 5 分科会名誉コーディネータの就任

報告事項 6 代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告

そ の 他

2.3 秋期定例会合

日 時:2025 年 11 月 20 日(木) 午後 3 時 00 分～午後 7 時 00 分

場 所:ホテルグランヴィア京都(5 階 古今の間)

出席者:角井寿雄会長、内藤牧男・三宅康雄副会長を含め 合計 65 名

次 第:

1. 協会挨拶 代表理事会長 角井寿雄
2. ご来賓式辞 経済産業省 製造産業局 産業機械課ロボット政策室 室長 石曾根智昭氏
3. 2025 年度協会事業の上半期実績報告 専務理事 前田孝善
4. 特別講演
演題:製造現場のリアルと AI 活用の最前線～人手不足の課題解決に向けたアプローチ～
講師:株式会社フツパー 代表取締役兼 CEO 大西 洋氏
5. 交流会

2.4 分科会連絡会議

日 時:2026 年 1 月 30 日(金) 午後 1 時 00 分～午後 5 時

場 所:名鉄グランドホテル(11 階・柏の間)・Web 会議

出席者:角井寿雄会長、内藤牧男副会長を含め 88 名

(司会進行:前田孝善専務理事、分科会運営委員会 鈴木康夫副委員長)

1. 開会挨拶 代表理事会長 角井寿雄
2. 分科会運営委員会委員長挨拶 委員長 奥山喜久夫
3. 協会からの連絡事項とお願い 専務理事 前田孝善
4. 分科会報告 各代表幹事
5. 第 21 回分科会功労賞、特別感謝状・第 2 回技術賞・第 12 回委員会・部門功労表彰式
代表理事会長 角井寿雄
6. 情報交換会 各分科会・分科会運営委員会
7. 閉会挨拶 委員長 奥山喜久夫

第 21 回分科会功労賞は 7 名、特別感謝状は 1 名、第 2 回分科会技術賞は 1 名、第 12 回委員会・部門功労賞は 4 名の方々が受賞された(8 頁 4. 表彰を参照)。

会議終了後、分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議参加のメンバーによる懇親会と情報交換会が行われた。

2.5 委員会・部門連絡会議

日時:2026年1月31日(土) 午前9時30分～午後2時15分

場所:名鉄グランドホテル(11階 桂の間)・Web会議

出席者:角井寿雄会長、内藤牧男、三宅康雄副会長を含め29名

(司会進行 専務理事 前田孝善)

1. 開会挨拶 代表理事会長 角井寿雄
2. 協会からの報告と連絡事項 専務理事 前田孝善
3. 各委員会・部門の現状と2024年度の計画について 各委員会・部門代表
4. 全般討議(委員会運営に係わる全般事項等の討議)
5. 閉会挨拶 副会長 三宅康雄

2.6 委員長連絡会

第1回 2025年9月11日(木)

大阪・Web/出席者19名

2.7 諮問会議

第1回 2025年4月17日(木)

京都・Web/出席者10名

第2回 2025年7月8日(火)

名古屋・Web/出席者9名

第3回 2025年10月29日(水)

名古屋・Web/出席者11名

第4回 2026年2月26日(木)

京都・Web/出席者11名

2.8 監査

日時:2026年4月24日(金) 13:30-15:00

場所:京都/協会本部会議室

議事:2025年度正味財産増減計算書、貸借対照表の監査並びに業務監査

3. 会 員

3.1 会員数

	2024年度 終了時	2025年度		
		入 会	退 会	終了時
正会員	417	12	12	417
法人会員	346	10	10	346
個人会員	71	2	2	71
準会員				
法人会員	1	1		2
賛助会員	6	1		7
合 計	424	14	12	426

(3/31時点)

3.2 入会

1) 法人会員(11社)

(株)エイ・エム・シィ (株)カナック 三洋貿易(株) JFEケミカル(株) (株)シュヴァルベル
(株)昭和真空 東邦チタニウム(株) (株)日本粉体研究所 森松 T&S(株)
レンゴウ(株) Wanhua Chemical Group Co., Ltd.

2) 賛助会員(1社)

NürnbergMesse China Co., Ltd.

2) 個人会員(2名)

伊藤真由美 吉田幹生

3.3 退会

1) 法人会員(10社)

(株)アドバンテスト 三洋貿易(株) クリーンエア・スカンジナビア(株) (株)3DC 東洋紡エムシー(株)

- 2)個人会員(2名)
高橋実 藤井修二

4. 表彰

2025年5月27日(火)、第44回定時総会に引続き、第39回協会賞、第32回粉体工業展賞、第13回東京粉体工業展賞、特別感謝状ならびに第39回粉体工業功績者の各表彰式を行った。また、2026年1月30日、分科会連絡会議の席上において、第21回分科会功労賞、特別感謝状、第2回分科会技術賞、第12回委員会・部門功労賞の表彰式を行った。

4.1 協会賞(第39回)

- 功労賞 榎野 利光 氏(榎野産業(株))
技術賞 田中 敏嗣 氏(追手門学院大学・大阪大学名誉教授)

4.2 粉体工業展賞(第32回)[細川明彦・佐知子基金補助]

- 真杉 隆志 氏(株大川原製作所)

4.3 東京粉体工業展賞(第13回)[細川明彦・佐知子基金補助]

- 森 隆昌 氏(法政大学)
森山 秀男 氏(日清エンジニアリング(株))

4.4 特別感謝状

- 山田雅彦 氏(株マツシマ メジャテック)

4.5 粉体工業功績者表彰(第39回)

(表彰項目別・法人会員名簿順)

No.	所属名	氏名	項目	No.	所属名	氏名	項目
1	アイシン産業(株)	齋須康仁	技術	18	三興空気装置(株)	渡邊 実	製造
2	(株)カワタ	藤谷博一	技術	19	シオノギファーマ(株)	早川 洋	製造
3	大平洋機工(株)	三澤浩二	技術	20	中央化工機(株)	宮崎 直彦	製造
4	(株)島津製作所	洲本高志	技術	21	ツカサ工業(株)	木村友彦	製造
5	新東工業(株)	安井 浩	技術	22	東和制電工業(株)	西 浩之	製造
6	進和テック(株)	加藤孝之	技術	23	フロイント産業(株)	杉山 守	製造
7	スペクトリス(株)マルバーン・パナリティカル事業部	平村 慶	技術	24	三菱ケミカル(株)	納富隆介	製造
8	(株)セイシン企業	津吹幸久	技術	25	(株)村田製作所	藤浪直勝	製造
9	太平洋エンジニアリング(株)	万力泰弘	技術	26	赤武エンジニアリング(株)	原 美智子	営業
10	東洋ハイテック(株)	大石あゆ太	技術	27	麻益(株)	早川典宏	営業
11	(株)徳寿工作所	長友幸喜	技術	28	(株)大川原製作所	広瀬泰孝	営業
12	日清エンジニアリング(株)	芝原公成	技術	29	大塚電子(株)	田中克治	営業
13	(株)パウレック	井津川秀樹	技術	30	(株)ダルトン	川田義晴	営業
14	ハカルプラス(株)	泉 賢治	技術	31	(株)奈良機械製作所	南 昭司	営業
15	(株)マツシマメジャテック	近藤 淳	技術	32	アシザワ・ファインテック(株)	佐貫田 誠	生産
16	ユーグロップ(株)	瀧本 澄雄	技術	33	エステック(株)	大塚 正治	生産
17	味の素(株)	永瀬 高寿	製造	34	ホソカワミクロン(株)	後 重幸	生産

(表彰項目内訳:技術開発16名、製造技術9名、営業活動6名、生産活動3名 計34名)

4.6 分科会功労賞(第21回)

(氏名50音順)

No.	氏名	分科会名	所属先
1	岩崎 祥司	電池	株式会社ダルトン
2	後夷 光一	集じん	新東工業株式会社(分科会在籍時)
3	大久保 安雄	湿式プロセス	敷島カンバス株式会社(分科会在籍時)
4	佐藤 澄人	乾燥	月島機械株式会社

5	島田 憲成	粉体シミュレーション技術利用	株式会社構造計画研究所
6	湯蓋 一博	粉砕	株式会社日清製粉グループ本社(分科会在籍時)
7	吉田 友一	分級ふるい分け	関西金網株式会社

4.7 分科会技術賞

No.	氏名	分科会名	所属先
1	羽倉 義雄	食品粉体技術	広島大学大学院

4.8 特別感謝状

No.	氏名	分科会名	所属先
1	伊藤 有一	粒子加工技術	信越化学工業株式会社

4.9 委員会・部門功労賞(第12回)

No.	氏名	委員会名	所属先
1	綾 信博	規格	株式会社 AIST Solutions
2	鹿毛 浩之	総務	九州工業大学名誉教授
3	栗原 秀直	集じん技術	ホーコス株式会社
4	村上 徹	人材育成	アイシン産業株式会社

5. 粉体工業展

5.1 POWTEX®2025(国際粉体工業展大阪)

5.1.1 概要

開催テーマ:未来をつくるPX(Powder-technology Transformation)～粉体技術で描く未来社会のデザイン～
 会期:2025年10月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00(最終日は16:30まで)

(オンライン展示会:2025年10月1日(水)～11月14日(金))

会場:インテックス大阪(南港)4・5号館 および WEB <https://powtex.com/online/expo/>

主催:(一社)日本粉体工業技術協会

後援:経済産業省近畿経済産業局、農林水産省、文部科学省、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター、地方独立行政法人大阪産業技術総合研究所、公益財団法人関西・大阪21世紀協会、一般財団法人大阪科学技術センター、一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会、ナノ学会

特別協賛:一般社団法人粉体工学会、公益社団法人化学工学会、日刊工業新聞社

協賛:

化成品工業協会	(一社)環境資源工学会	(一財)機械振興協会
合成ゴム工業会	骨材資源工学会	(一社)産業環境管理協会
(一社)色材協会	(一社)資源・素材学会	(公社)新化学技術推進協会
人工軽量骨材協会	(一社)製剤機械技術学会	製粉協会
石灰石鋳業協会	(一社)セメント協会	耐火物技術協会
タングステン・モリブデン工業会	(一社)電池工業会	日本エアロゾル学会
(一社)日本科学機器協会	(一社)日本化学工業協会	(一社)日本機械学会
(公社)日本空気清浄協会	(一社)日本計量機器工業連合会	(公社)日本下水道協会
(一社)日本砕石協会	(公社)日本材料学会	(一社)日本産業機械工業会
(一社)日本試薬協会	(一社)日本食品機械工業会	(一社)日本食品工学会
(公社)日本水道協会	日本製薬工業協会	日本製薬団体連合会
日本石灰協会	日本石鹼洗剤工業会	(公社)日本セラミックス協会
(一社)日本鉄鋼協会	(一社)日本電気計測器工業会	(一社)日本塗料工業会
(一社)日本乳業協会	(一社)日本粘土学会	(一社)日本農業機械工業会
(一社)日本ファインセラミックス協会	日本プラスチック工業連盟	日本フレキシブルコンテナ工業会
日本粉末冶金工業会	(一社)日本包装機械工業会	日本無機薬品協会
日本薬科機器協会	ネオマテリアル研究会	(一社)表面技術協会
(一財)ファインセラミックスセンター	(一社)粉体粉末冶金協会	(一社)レーザプラットフォーム協議会

展示規模:203社・団体/638小間

来場者:リアル展 8,429名(登録入場者数) オンライン展来場者数 3,706名

同時開催行事:

- 粉体工学会 秋期研究発表会(主催:粉体工学会)
会期: 10月14日(火)・15日(水)
会場: インテックス大阪 センタービル 2F 国際会議ホール

併催企画:

- 学生ツアー・交流会(企画:人材育成委員会)
会期: 10月15日(水)9:30~13:00
会場: 5号館 D ルーム
参加者: 58名(大学関係者、協会関係者、学生、企業社員)
- 製品技術説明会
会期: 10月15日(水)~17日(金)
会場: 4号館 A・B ルーム
- 未来材料・粉体シミュレーションゾーン 出展社プレゼンテーション
会期: 10月15日(水)~17日(金)
会場: 4号館 A ルーム

PX ステーション

5号館に特設ステージ“PX ステーション”を設け、会期中3日間、出展社・来場者が参加して、各種イベントを開催した。

- ◆注目業界PX
 - 1 電池製造
 - 2 食品・医薬品・化粧品製造
 - 3 電子材料・セラミックス
- ◆出展社によるイチオシ! プレゼンテーション
出展社のイチオシ! 製品に関する5分のショートプレゼンテーション
(10月15日(水) 7社、10月16日(木) 12社、10月17日(金) 10社実施)

併催セミナー・フォーラム

□セミナー

- ◆PXフォーラム
 - 1 粉体技術で広がる医薬品の未来: 乾燥技術の新しい可能性
会期: 10月15日(水) 13:00~14:30
会場: 5号館 C ルーム
参加者: 60名
 - 2 次世代エネルギー材料の挑戦: 持続可能な未来を創る
会期: 10月16日(木) 15:30~16:50
会場: 5号館 C ルーム
参加者: 80名
 - 3 美の未来を拓く化粧品を支える粉体技術
会期: 10月17日(金) 13:00~14:20
会場: 5号館 C ルーム
参加者: 62名
- ◆粉体機器ガイダンス (講演と参加企業によるプレゼンテーション)
 - 1 「集じん」
企画協力: 集じん分科会
会期: 10月17日(金) 13:00~15:00
会場: 5号館 D ルーム
参加者: 80名(オンデマンド視聴回数 145件)
 - 2 「混合・成形」
企画協力: 混合・成形分科会
会期: 10月16日(木) 10:30~12:30
会場: 5号館 D ルーム
参加者: 94名(オンデマンド視聴回数 203件)
- ◆粉じん爆発情報セミナー
企画協力: 粉じん爆発委員会

会期: 10月17日(金) 10:00~13:00
会場: センタービル 2F 国際会議ホール
参加者: 87名

◆海外情報セミナー

企画協力: 海外交流委員会
会期: 10月16日(木) 12:30~15:00
会場: 5号館 C ルーム
参加者: 62名

◆AI技術利用に関するセミナー「ものづくりにおけるAIの活用」

企画協力: AI技術利用委員会
会期: 10月17日(金) 10:00~12:10
会場: 5号館 D ルーム
参加者: 70名

◆粒子特性評価 JIS/ISO 規格の最新動向

企画協力: 規格委員会
会期: 10月15日(水) 15:00~16:30
会場: 5号館 C ルーム
参加者: 50名

◆粒子径計測入門セミナー

企画協力: 規格委員会
会期: 10月16日(木) 13:30~15:00
会場: 5号館 D ルーム
参加者: 84名(オンデマンド視聴回数 183件)

◆粉体工学入門セミナー 入門の入門編&聞いてみる、名刺交換会

会期: 10月15日(水)、16日(木)、17日(金) 10:30~12:00
会場: 5号館 C ルーム
参加者: 延べ 232名

□APPIE 産学官連携フェア 2025&テクノマルシェ~名刺交換会~(企画:産学技術交流推進部門)

会期: 10月16日(木) 9:30~ APPIE 産学官連携フェア 2025
15:00~ テクノマルシェ~名刺交換会~
会場: センタービル 2F 国際会議ホール
シーズ発表: 30件
参加者: 89名

5.1.2 オープニングセレモニー

会期: 10月15日(水) 9:45~10:00
会場: 展示会場内 5号館 PX ステーション
主催者挨拶: 日本粉体工業技術協会 代表理事長 角井寿雄
テープカット: 全7名

5.1.3 開催記念レセプション

会期: 10月15日(水) 17:30~19:00
会場: グランドプリンスホテル大阪ベイ 3F プリンスボール D・E

5.1.4 技術相談コーナー

会期: 10月15日(水)~17日(金)の3日間
会場: 展示会場内 主催者コーナー内
相談件数: 18件(各日2名の相談員にて対応)

5.1.5 主催者コーナー

- ・協会活動案内
協会の事業方針、活動方針の案内、月刊誌“粉体技術”の紹介をはじめ、各種資料の配布を行った。
- ・分科会ポスター展示:
21分科会が、活動報告・粉体の近未来技術をポスター展示
- ・標準粉体展示コーナー

JIS(Z 8901)試験用粉体・ダスト、APPIE 標準粉体(日本粉体工業技術協会規格)、AC ダスト・検定用粒子などの紹介(パネル展示)を行った。

・月刊誌“粉体技術”の紹介

5.1.6 粉体技術総覧 2024/2025 の発刊

冊子を発刊し、会場において来場者に無料で配布した。

6. 常置委員会

6.1 総務委員会 (六車嘉貢委員長、西村元樹副委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

1) 広報改革

- 1)-1 APPIE メールマガジン発信を継続し内容の改善を図った。(作成・発信は協会総務が担当)
- 2)-2 協会ホームページの更新・メンテナンス・改善を行った。

2) 会員増強と退会防止への取組

- 2)-1 「POWTEX®2025(国際粉体工業展大阪)」非会員出展社に対し入会勧誘を行った。
- 2)-2 新入会員オリエンテーション実施への協力(協会概要説明)を継続中。

3) 協会活性化

- 3)-1 協会のコンプライアンス規程制定について議論を行った。
- 3)-2 「粉体技術」記事一部のホームページ一般公開について編集委員会と協議し方針を決定した。
- 3)-3 協会活性化(例えば、女性や若手会員の協会事業への参加など)を引き続き議論した。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.4.8	東京/東京ガーデンパレス (新入会員オリエンテーションに合わせ実施)	12	1. 委員会・部門連絡会、理事会の情報共有 2. 2025 年度事業計画、活動方針の確認 3. 協会事務局からの報告 4. 協会のコンプライアンスについて 5. 協会活性化(女性、若手会員の協会事業への参加など)につき意見交換
2	2025.8.28	京都/協会本部 会議室	10	1. 理事会の情報共有 2. 2025 年度事業計画、活動方針の確認と進捗 3. 協会のコンプライアンスについて 4. その他、意見交換
3	2025.12.11	大阪/大阪ガーデンパレス (新入会員オリエンテーションに合わせ実施)	14	1. 理事会の情報共有 2. 2025 年度事業計画、活動方針の確認と進捗 3. 2026 年度事業計画、委員会日程 4. 「粉体技術」PDF 一般公開について 5. 粉体工学会とのバナー交換について 6. 協会のコンプライアンスについて 7. その他、意見交換

6.2 組織強化委員会 (角井寿雄委員長、前田孝善副委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

- ・新入会員オリエンテーションを東京および大阪で計 2 回実施した。
- ・新入会員会社に対し、活動参画のためのフォローを行った。

2. 実施した会合、会議 開催なし

(新入会員オリエンテーション)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.4.8	東京ガーデンパレス	19	新入会員 4 名、協会関係者 15 名
2	2025.12.11	ANA クラウンプラザホテル大阪	27	協会活用のためのレクチャーとして案内 新入会員 10 名(うち既存会員 8 名)、協会関係者 17 名

6.3 技術委員会 (牧野尚夫委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

- 1) 業務所掌:委員会、分科会に共通する技術的問題への対応
- 2) 現在、「技術委員会」の傘下に「AI 技術利用委員会」がある。なお、本委員会の傘下にあった技術用語検討委員会が制作した「粉体用語ポケットブック」は販売を継続しており、3 年ほどでの完売が見込める

ため増刷などを検討中。

6.3.1 AI 技術利用委員会（酒井幹夫委員長、島田憲成、山本浩充各副委員長）

1. 2025 年度の事業実績概要

計 2 回の委員会を開催し、「粉体プロセスとデータサイエンス」をテーマに講演会を行った。POWTEX2025 では、「ものづくりにおける AI の活用」をテーマにデータサイエンス・AI の専門家を招聘し、AI 技術利用セミナーを実施した。AI の専門家から、次世代通信や創薬・医薬への AI の応用に関する研究成果の発表がなされた。セミナーは非常に好評であり、AI の粉体工学を含む幅広い工学への応用の可能性を感じられるものであった。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.8.19	東京/榊構造計画研究所	22	「粉体プロセスとデータサイエンス」に関する 3 件の講演 他
2	2026.3.17	京都/ホテルグランヴィア 京都	21	「粉体プロセスとデータサイエンス」に関する 3 件の講演 他

(小委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.4.8	協会東京事務所・Web	11	第 1 回委員会講演講師検討 POWTEX2025 セミナー講師検討 AI 技術利用委員会活動報告計画
2	2025.7.7	協会東京事務所・Web	11	第 1 回 AI 技術利用委員会の準備 AI 技術利用委員会活動報告計画資料の作成手順 POWTEX2025 AI 技術利用に関するセミナー
3	2025.10.17	大阪/インテックス大阪	13	POWTEX2025「AI 技術利用に関するセミナー」総括 AI 技術利用委員会活動報告計画 第 2 回委員会講演講師検討

6.4 「粉体技術」編集委員会（加納純也委員長、根本源太郎、井上義之各副委員長）

1. 2025 年度の事業実績概要

2025 年度も協会会員のニーズを十分反映し、我が国の粉体関連分野に関わる一般読者にも充実した情報を幅広く提供する「粉体技術」誌を目指し活動した。

また、PDF 版「粉体技術」誌の一般公開に向けて総務委員会との協議を進めた。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.5.30.31	仙台/東北大学	23	進捗確認、新企画審議
2	2025・9・12	京都/京都経済センター	23	進捗確認、新企画審議
3	2025・12・12	東京/種苗会館6階会議室	23	進捗確認、新企画審議
4	2026・3・12	京都/京都経済センター	25	進捗確認、新企画審議

(小委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1-12	毎月初旬～中旬	京都/協会本部会議室	5～8	発行予定号の校閲、業務効率化検討

(正副委員長会議)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.4.25	仙台/東北大学	4	進捗・新企画の確認/懸念事項の確認

(学協会編集委員会正副委員長懇談会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025・10・20	横浜/SUBAKI 新横浜 Part.2	7	1. 各誌体制・企画の確認 2. 協業案検討

粉体関連産業の総合情報月刊誌である「粉体技術」各号の特集内容は以下の通り。

月号	特集
4月号	協会を支える分科会活動
5月号	粉体ハンドリング分科会
6月号	未来の農業とアグリビジネス
7月号	宇宙と関わる粉体技術
8月号	乾燥技術の動向と装置メーカー各社の取り組み—乾燥分科会特集—
9月号	粉へと形を変える食品たち
10月号	飛ばせたい粒子

11月号	ベンチャー・スタートアップと粉体技術
12月号	湿式プロセス分科会特集
1月号	粉体の安全
2月号	POWTEX®2025—国際粉体工業展大阪を終えて
3月号	伝統的工芸品産業に使われる粉体技術

6.5 推薦審査委員会（山田幸良委員長、森康維副委員長）

1. 2025年度の事業実績概要

各賞の表彰規定に則り、審査業務を実施した。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.10.7	東京/東京ガーデンパレス	5	1.分科会功労賞/委員会・部門功労賞選考 分科会功労賞7名、分科会技術賞1名、委員会部門功労賞4名、特別感謝状1名計13名が選考された
2	2026.2.18	名古屋/名鉄グランドホテル	7	個人会員等候補者の選考 個人会員の名誉個人会員移行・会友候補者の選考 協会賞・粉体工業展賞候補者の選考審査 粉体工業功績者賞候補の選考審査

6.6 粉体工業展委員会（角井寿雄委員長、芦澤直太郎、三宅康雄各副委員長）

1. 2025年度の事業実績概要

1) POWTEX®2025—国際粉体工業展大阪開催（詳細は大阪粉体工業展委員会より報告）

・開催期間:リアル展示会 2025年10月15日(水)～17日(金)

オンライン展示会 2025年10月1日(水)～11月14日(金)

・開催規模:203社・団体/638小間(前回、172社/515小間)

・来場者:リアル展示会8,429名(前回、7,757名)、オンライン展示会3,706名(前回、3,392名)

2) POWTEX®2026—第46回国際粉体工業展開催準備

POWTEX®2026開催に向けて企画策定を実施した。

3) 海外交流委員会と協力し、海外の主要粉体工業展において広報・宣伝を行った。

iPBS 2025(米国・シカゴ)(2025.4.29-5.1)、IPB(中国・上海)(2025.8.6-8)、POWTECH TECHNOPHARM2025(ドイツ・ニュルンベルグ)(2025.9.23-25)

4) POWTEX®2028～検討会開催

POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託先、展示会のあり方などの検討を行った。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.5.7	協会京都本部、東京事務所 およびWEB	11	1.POWTEX®2026年度以降の粉体工業展業務委託 契約(案)について
2	2025.6.25	名鉄グランドホテル12階 蘭 の間およびWEB	10	1.POWTEX®2026出展料 2.展示会名称の通算開催数明記 3.POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託先検 討の作業チームのメンバー確認と意見交換
3	2025.12.11	WEB会議	11	1.2026年版「粉体技術総覧」掲載料金の変更 2. POWTEX®2028以降の業務委託先の検討状況 3.POWTEX NEXT(仮称)勉強会

(小委員会)

POWTEX®2028～検討会

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.7.16	協会東京事務所	5	POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託先検討
2	2025.8.28	協会東京事務所	5	POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託仕様、スケジュール 検討
3	2025.9.22	WEB会議	5	POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託仕様書の内容検 討
4	2025.10.28	大阪/ハカルプラ ス(株)	5	POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託仕様書の内容検 討
5	2025.12.3	協会東京事務所	7	POWTEX®2028以降の展示会運営業務委託仕様書レビュー

6.6.1 東京粉体工業展委員会（芦澤直太郎委員長、谷本秀斗、村上徹、森山秀男各副委員長）

1. 2025年度の事業実績概要

POWTEX®2026 開催に向け、委員会組織体制の整備から開催方式の刷新まで、実施に必要な事項について幅広く検討を進めた。特に、オンライン展の見直しや出展料改定、粉体技術総覧の制作方針など、重要項目について議論を行い、開催に向けた基本方針を取りまとめた。

【主な検討・決定事項】

- 1) 開催回数を大阪・名古屋展との通算表記とし、名称から開催地名を外す(例: 第46回国際粉体工業展)
- 2) 出展規模: 300社・団体、1,100小間(うち有料780小間)、登録入場者数18,000人をめざす
- 3) 従来の「オンライン展」に替えて、新仕様の「オンライン紹介」を実施する
- 4) 出展企業の新卒・中途採用情報を掲示するパネルコーナーを新設する
- 5) 施工費・人件費等の高騰に伴い、出展料を前回比約1割増で改定した
- 6) 「粉体技術総覧2026/2027」の制作方針を決定した
- 7) INCHEM 2025(9/17-19)およびJapan Pack 2025(10/7-10)の協会ブースにてPOWTEXの広報活動を実施した

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.6.23	種苗会館&Web	29	組織と体制、全体スケジュール案、基本構成
2	2025.8.27	種苗会館&Web	29	ポスターデザイン、オンライン展、開催要項、ゾーン展示
3	2025.11.7	種苗会館&Web	29	POWTEX2025 振り返り、新規展示、出展促進・広報活動
4	2026.2.27	種苗会館&Web	29	出展促進・広報活動、併催行事、オンライン紹介など

(小委員会)

小委員会名	日程	人数	議題
第1回正副委員長	2025.5.20	11	組織と体制、全体スケジュール案、基本構成、粉体技術総覧
第1回広報	2025.7.24	15	デザイン、オンライン展についての考え方、先端材料ゾーン
第2回正副委員長	2025.7.29	10	オンライン展、開催募集案内掲載内容、併催行事
第1回粉体技術総覧	2025.9.9	13	申込書デザイン案、分類見直し、掲載料金見直し、Web版
第3回正副委員長	2025.10.30	11	POWTEX2025 振り返り、出展促進、広報、当初予算
第2回粉体技術総覧	2025.11.27	12	改定方針検討、掲載内容、営業活動、スケジュール確認
第1回併催行事	2025.12.18	16	進行スケジュール、全体構成、公的研究機関
第2回広報	2026.1.20	15	出展募集スケジュール、出展促進・来場誘致
第4回正副委員長	2026.1.27	12	出展促進・広報活動、併催行事、オンライン紹介
第3回粉体技術総覧	2026.2.27	14	WEB版項目検討、営業活動、スケジュール確認

6.6.2 大阪粉体工業展委員会（三宅康雄委員長、池田憲俊、貝島健太各副委員長）

1. 2025年度の事業実績概要

POWTEX®2025 を無事に開催することが出来た。今回の開催テーマは引き続き「未来をつくる PX (Powder-Technology Transformation)」、そして大阪・関西万博につながるサブテーマとして「粉体技術で描く未来社会のデザイン」とした。今回もリアル展とオンライン展を併設したハイブリッド方式を採用した。また、前回に引き続き会場内5号館に特設ステージ“PX ステーション”を設け、主催者、出展社、来場者参加型イベントを開催した。そして、新企画「イチオシ！」を実施した。出展社ブースおよびオンラインで来場者に一番PRしたい粉体技術の製品や技術に「イチオシ！」表示、会場内での一覧掲示やサインージでの紹介、PX ステーションでのプレゼンテーションを行い、来場者に好評だった。実績概要は第1章を参照。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.5.13	京都/協会京都本部会議室およびWEB	24	1.出展申込状況、全体レイアウト 2.併催イベント情報報告 3.広報計画について 4.PX ステーション状況報告 5.イチオシ！状況報告 など
2	2025.7.3	京都/協会京都本部会議室およびWEB	26	1.出展申込状況、開催規模 2.併催イベント状況報告、アンケート 3.開会式、開催記念レセプション 4.広報について 5.PX ステーション状況報告 6.イチオシ！状況報告 など
3	2025.9.4	京都/協会京都本部会議室	25	1.来場誘致、広報について

		室およびWEB		2.併催イベント 担当割／申込状況 3. 開会式、開催記念レセプション 4.PX ステーション・動画 5.来場者／出展社アンケート など
--	--	---------	--	---

(小間割委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.7.3	京都/協会京都本部会議室および WEB	9	1. 出展状況(開催規模、収入見込) 2. 小間割公開(会場構成、予備小間)

(会場運営ワーキング委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.9.4	京都/協会京都本部会議室および WEB	16	1. 会場導線確認 2. 会期中の役割分担 など

(監査会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2026.3.4	京都/協会京都本部会議室および WEB	9	1. POWTEX®2025 会計報告と監査 2. POWTEX®2027 に向けて

6.7 分科会運営委員会 (奥山喜久夫委員長、鈴木康夫、松坂修二各副委員長)

1.2025 年度の事業実績概要

- 1) 持続的な運営および活動が行われるように、コーディネータ・幹事などの体制を含めて、サポートを行った
- 2) 現地開催では、できるだけ交流会を積極的に推進するようにお願いした。
- 3) 分科会運営相談会を通して、3 つの分科会の組織および運営を個別に確認し、本会合の開催などについて、必要に応じてサポートした。

2.実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.8.1	京都/協会本部会議室	6	・2025 年度拡大分科会運営委員会および分科会運営相談会の準備 ・分科会報告資料の検討
2	2025.8.29 拡大分科会運営委員会	ホテルグランヴィア京都・Web会議	37	・各分科会からの 2025 年度の分科会の開催および活動状況報告 ・分科会開催状況の事例紹介(3 分科会) ・分科会ロードマップ更新のお願い ・AI 技術利用委員会活動紹介
3	2025.11.14	京都/協会本部会議室	6	・分科会運営相談会と拡大分科会運営委員会にて提起された問題点の整理と検討 ・分科会連絡会議の次第と役割分担 ・分科会運営委員会の活動方針の検討

6.8 海外交流委員会 (田辺大二委員長、國枝純副委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

[海外交流事業]

主催者との相互協力(バーター)契約に基づき、無償でのブース出展や広告掲載を実施した。

協会ブースでは、協会活動や入会、POWTEX に関する質問に対応し、海外法人企業の入会促進および POWTEX への出展促進に取り組んだ。また、共同出展などを通して会員企業の海外展開を支援した。

- 1) KOREA CHEM 2025 韓国ソウル郊外 4月22日(火)－25日(金)
- 2) iPBS 2025 米シカゴ郊外 4月29日(火)－5月1日(木)
- 3) IPB 2025 中国上海 8月6日(水)－8日(金)
- 4) A-Powder Tech 2025 韓国ソウル郊外 8月27日(水)－29日(金)
- 5) POWTECH TECHNOPHARM 2025 ドイツ・ニュルンベルク 2025年9月23日(火)－25日(木)

[国内事業]

- 1) 海外情報セミナーを(POWTEX®2025 併催行事)10月16日に開催した。

2.実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.6.16	種苗会館&Web	11	・海外情報セミナー企画報告と当日対応検討 ・海外展示会進捗報告、対応検討
2	2025.10.30	種苗会館&Web	14	・海外展示会と海外情報セミナー報告 ・2026 度事業計画検討

6.9 人材育成委員会（荻田容宏委員長、槇野利光副委員長、菅原尚也副委員長）

1. 2025 年度の事業実績概要

- 1) 委員会開催日に合わせて「若手のつどい」を年 4 回開催
- 2) POWTEX®2025 国際粉体工業展大阪にて、「学生ツアー」を実施

2. 実施した会合、会議 委員会および「若手のつどい」

回	日程	場所	人数	議題、若手のつどい
1	2025.6.24	静岡/赤武エンジニアリング(株)	17 21	第 1 回人材育成委員会 第 87 回若手のつどい(工場見学)
2	2025.9.26	大阪/ KITENA新大阪会議室	13 37	第 2 回人材育成委員会 第 88 回若手のつどい(討論会)
3	2025.10.15	インテックス大阪	58	学生ツアー(参加者 58 名内、引率先生 10 名)
4	2025.12.09	東京/種苗会館6階会議室 東京ガーデンパレス	17 18	第 3 回人材育成委員会 第 89 回若手のつどい
5	2026.3.18	群馬/製粉ミュージアム	13 27	第 4 回人材育成委員会 第 90 回若手のつどい

6.10 標準粉体委員会（後藤邦彰委員長、高橋かより副委員長）

1. 2025 年度の事業実績概要

- 1) JIS Z 8901 の改定作業
- 2) MBP3-30 の製造
- 3) JISZ8901 標準粉体ラウンドロビンテスト方法及びスケジュールを決定した
- 4) JIS 試験用粉体 1-8 種関東ローム相当品の粒子径分布管理方法を検討した

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.9.25	協会本部会議	6	1.MBP3-30 の小分け法・認証値の前打合せ
2	2025.10.27	協会本部会議	20	1.MBP3-30 の小分け法・認証値の件 2.JISZ8901 標準粉体ラウンドロビンテスト方法及びスケジュール 3.JIS 試験用粉体 1-8 種関東ローム相当品の件

6.11 規格委員会（松山達委員長、高橋かより副委員長）

1. 2025 年度の事業実績概要

- 1) 対象となる JIS 5 年定期見直しを 5 件実施。また、協会規格 SAP05-98「粉体の仕様表示方法に関するガイドライン」の改正を完了した。
- 2) 3件の改正 JIS 原案を JSA に提出、そのうちの2件は主務大臣に申し出で完了。現在 4 件の原案を作成中。
- 3) 改定 ISO 13099-2:2025(Ed2)、改定 ISO 22412:2025(ED3)、改定 ISO 9276-1(ED3)、改定 ISO 21501-1:2025(ED2)を発行。
- 4) ISO/FDIS 16313-1 の FDIS 投票が行われ承認された。
- 5) JIS や ISO の情報を「粉体技術」誌上で紹介した。
- 6) 「ろ布および乾式ろ過集じん装置の性能評価試験の標準化とその応用展開」を講演テーマとして第 4 回標準化セミナーを 2025 年 11 月 4 日に名古屋で開催した。50 名が参加した。
- 7) POWTEX®2025 にて、「粒子特性評価 JIS/ISO 規格の最新動向」と題してセミナー(50 名参加)および「粒子径計測入門」セミナー(84 名参加)を開催。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.5.9	協会東京事務所/Web	12	・SAP、JIS、ISO の確認、新規作成検討
2	2025.12.18	協会東京事務所/Web	12	・規格、標準化活動に関する広報 ・規格関連委員会の動向確認

6.11.1 粒子特性評価委員会（桜井博委員長、伊藤和輝副委員長）

1. 2025 年度の事業実績概要

本委員会は現在 45 名の委員により構成され、ISO/TC 24/SC 4 (Particle characterization)国内審議団体として、経済産業省(METI)からの委託事業活動を含め、粉体・粒子測定に関する ISO 国際標準化活動に参加し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動を行っている。

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.6.17	協会東京事務所/	40	・本年度の体制と方針

		Web		・第 68 回国際会議の報告と第 69 回国際会議への準備
2	2025.12.8	協会東京事務所/ Web	33	・第 69 回国際会議の報告と第 70 回国際会議への準備 ・次年度の体制と方針

6.11.2 ふるい委員会 (松山達委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

14 名の委員により構成され、ふるい委員会 (ISO/TC 24/SC 8 国内審議団体) を開催。主に、ふるいに関する ISO 国際標準化活動に参加し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動中。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2026.2.9	協会東京事務所/Web	14	2025 年度活動報告/プロジェクト状況報告

6.11.3 集じん技術委員会 (福井国博委員長、森下あや子副委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

19 名の委員とアドバイザー等で構成され、ISO/TC 142/WG5 及び ISO/TC 142/WG7 国内審議団体として、主に経済産業省 (METI) からの委託事業として、集じん装置の性能評価試験法 (WG5)、集じん用ろ布性能評価試験法 (WG7) に関する ISO 国際標準化活動に参加し、適正な規格文書の迅速な作成に向け活動中である。

1. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.6.3 集じん技術 第 1 回	協会東京事務所/ Web	17	・2025～2026 年度委員会委員構成 ・ISO/TC142 WG5 の現状及び今後の対応 ・ISO/TC142 WG7 の現状及び今後の対応
2	2026.1.21 集じん技術 第 2 回	協会東京事務所/ Web	16	・ISO/TC142 WG5 Milano 会議報告及び今後の対応 ・ISO/TC142 WG7 Milano 会議報告及び今後の対応 ・2026 年度の予定

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.9.10 正副委員長第 1 回	Web 会議	3	・ISO/TC142 WG5 及び Plenary 会議の現状と対応 ・ISO/TC142 WG7 及び Plenary 会議の現状と対応

6.11.4-1 2023 年度 JIS 原案作成委員会 3

小角 X 線散乱 (SAXS) による多孔質・微粒子系材料の比表面積の測定

「ISO 20804:2022 Determination of the specific surface area of porous and particulate systems by small-angle X-ray scattering (SAXS)」の JIS 制定 (伊藤和輝委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

2022 年 5 月に発行された ISO 20804:2022 を基にした JIS の制定を検討中である。2026 年 3 月の JSA 提出を目標としている。

2. 実施した会合、会議

(JIS 原案作成委員会)

回	日程	場所	人数	議題
2	2025.4.21	Web 会議	13	JIS 原案 (素案) の審議
3	2026.3.17	協会東京事務所/Web	9	原案の最終確認と JSA 提出承認

(JIS 原案作成分科会)

回	日程	場所	人数	議題
3	2025.4.3	Web 会議	7	JIS 原案 (素案) の審議
4	2025.4.21	Web 会議	8	JIS 原案素案審議のまとめ
5	2026.3.6	Web 会議	3	委員会へ提出する原案の調整と確認
6	2026.3.17	協会東京事務所/Web	7	委員会へ提出する原案の最終確認

6.11.4-2 2024 年度 JIS 原案作成委員会 2

JIS Z 8820-1:2002「液相重力沈降法による粒子径分布測定方法—第 1 部:測定的一般原理及び指針」の改正 (武田真一委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

ISO 13317-1 の翻訳 JIS (IDT) として改訂を進めることを承認し、主に日本規格協会の協力のもとに関係するメンバーが参加し、適正な JIS の作成を完了、計画通り JSA へ提出した。

2.実施した会合、会議

(JIS 原案作成委員会)

回	日程	場所	人数	議題
2	2025.5.23	Web 会議	10	JIS 原案内容の各章の確認と修正
3	2025.8.7	協会東京事務所/Web	12	JIS 原案内容の各章の最終確認

(JIS 原案作成分科会)

回	日程	場所	人数	議題
6	2025.4.14	Web 会議	6	JIS 原案内容の各章ごとの確認及び修正
7	2025.4.15	Web 会議	4	
8	2025.4.16	Web 会議	4	
9	2025.4.21	Web 会議	3	
10	2025.4.23	Web 会議	5	
11	2025.5.23	Web 会議	7	
12	2025.7.18	Web 会議	6	

6.11.4-3 2024 年度 JIS 原案作成委員会 3

JIS Z 8830:2013「ガス吸着による粉体(固体)の比表面積測定方法」の改正(藤正督委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

ISO9927 の翻訳 JIS (IDT)として改訂を進めることとし、主に日本規格協会の協力をもとに JIS 原案作成に関係するメンバーが議論し作成を完了、JSA へ提出した。(2025.5.30 JSA に原案提出完了)

2.実施した会合、会議

(JIS 原案作成委員会)

回	日程	場所	人数	議題
2	2025.4.23	Web 会議	7	JIS 原案内容の確認と承認 JIS 原案作成の今後の日程調整
3	2025.5.23	書面	7	JIS 原案の最終確認

6.11.4-4 2025 年度 JIS 原案作成委員会 1

JIS Z 8829 「液中分散粒子の粒子分布及び個数濃度解析 - 粒子軌跡解析 (PTA) 法」(綾信博委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

本 JIS は、粒子軌跡解析法(粒子トラッキング解析法, PTA 法)を用い、液体中に分散した固体、液体又は気体の粒子の自己拡散を解析することによって、個数基準の粒子径分布を評価する方法について規定する。2024 年 8 月に発行された ISO 19430: Determination of particle size distribution and number concentration by particle tracking analysis (PTA)を基に、2021 年発行の JIS Z 8829 の改正作業を行う。2026 年 5 月には原案を完成し JSA 提出を目標としている。

2.実施した会合、会議

(JIS 原案作成委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2026.1.8	協会東京事務所/Web	12	JIS 原案内容の確認と承認 今後の会議計画説明と委員会日程調整

(JIS 原案作成分科会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2026.1.8	協会東京事務所/Web	8	JIS 原案内容の各章の確認と修正
2	2026.2.12	協会東京事務所/Web	8	JIS 原案内容の各章の確認と修正
3	2026.3.5	協会東京事務所/Web	9	JIS 原案内容の各章の確認と修正

6.11.4-5 2025 年度 JIS 原案作成委員会 2

ISO 19996 エアロゾル粒子の特性評価及び試験粒子発生のための電荷調整の JIS 化(JIS Z8847)

(桜井博委員長、榎野成視副委員長、船戸浩二副委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

2024 年に新たに制定された ISO 19996:2024 を JIS 規格とすることを目的として、日本規格協会(JSA)の JIS 原案作成公募制度を利用し、JIS 原案の作成を行う。

2.実施した会合、会議

(JIS 原案作成委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.10.20	Web会議	9	対応規格 ISO19996 の概要/基本方針 ・スケジュール 参照文書と作業ファイルの確認/ISOolutions の活用について

2	2026. 3.24	Web会議	9	原案作成状況の中間確認
---	------------	-------	---	-------------

(JIS 原案作成分科会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.10.20	Web会議	7	分科会の日程調整/スケジュール・役割分担/ISolutions 操作方法確認
2	2025.11.27	Web会議	7	洗い出した用語・文章の修正/今後の分科会の日程調整
3	2025.12.17	Web会議	7	附属書 B の確認及び修正/今後の分科会の日程調整
4	2026.1.30	Web会議	7	原案内容の確認及び修正
5	2026.2.13	Web会議	7	原案内容の確認及び修正
6	2026.3.24	Web会議	7	原案内容の確認及び修正

6.11.4-6 2025 年度 JIS 原案作成委員会 3

JIS Z 8823-1「液相遠心沈降法による粒子径分布の測定方法-第 1 部:一般原理、要求事項及び指針」
(森隆昌委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

液相遠心沈降法による粒子径分析の原理を規定する。また 関連用語の定義、様々な測定技術について説明、試料調製、測定の実施およびデータ解析に関するガイダンス、方法の妥当性確認、不確かさ量の決定、及び結果の表示方法を規定する。

2. 実施した会合、会議

(JIS 原案作成委員会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2026.1.26	協会東京事務所/Web	8	JIS 原案内容の各章の確認と修正

(JIS 原案作成分科会)

回	日程	場所	人数	議題
1	2026.1.26	協会東京事務所/Web	5	JIS 原案内容の確認と承認 JIS 原案作成の計画説明と委員会日程等調整
2	2026.3.5	Web 会議	8	JIS 原案内容の各章の確認と修正

6.12 粉じん爆発委員会 (山隈瑞樹委員長、土橋律、太田潔各副委員長)

1. 2025 年度の事業実績概要

1) 安全教育

・粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】 9 月 1 日(月)、2 日(火)にハイブリッド研修を実施
講師 14 名、参加者は 93 名(現地 20 名、リモート 73 名)

2) 最新の規制、規格動向及び技術情報の把握

検討の必要な課題 2 件について WG 活動を継続

WG-A:粉じん爆発危険場所の分類 (リーダー:山隈委員長):IEC 規格に従った危険場所の実例を収集中
WG-B:NFPA(米国防火協会)規格 (リーダー:太田副委員長):NFPA660 の内容の確認中との報告があった

3) POWTEX®2025 国際粉体工業展大阪の併催イベント

2025 年 10 月 17 日(金)に「粉じん爆発情報セミナー」を開催。参加者 87 名

3) 分科会等との連携

山隈委員長が、第 4 回標準セミナーにおいて、「集じん装置の粉じん爆発事例とバグフィルター用ろ布の静電気特性試験法」に関する講演を実施した。

集じん技術委員会において「ろ布性能および乾式小型ろ過集じん装置の性能評価試験法」に関する国際標準化活動に協力した。

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.6.9	(株)パウレック本社 Web	19	安全研修 POWTEX2025 大阪での情報セミナーの実施詳細計画、勉強会
2	2025.12.2 3	東京事務所 Web	26	活動報告(初級安全研修、POWTEX2025 での情報セミナー)、および 2026 年度事業計画・予算、勉強会
3	2026.3.23	東京事務所 Web	23	2026 年度事業計画実施概要、勉強会、 POWTEX2026 東京での情報セミナーの講演、安全研修 【初級/基礎編】、【中級/技術編】

7. 分科会

7.1 粉体ハンドリング分科会

登録会員数 450 人

(松坂修二、田中敏嗣各コーディネータ、河府賢治副コーディネータ、海老原裕之代表幹事[日清エンジニアリング(株)]、岸本武志代表幹事[三興空気装置(株)]、鍋内浩副代表幹事[(株)マツシマ メジャテック])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.23	釜石市鉄の歴史館	36	粉粒体ハンドリング技術が変える養殖業 施設見学、製品紹介
2	2025.12.2	同志社大学 東京サ テライトオフィス	75	超音波振動の発生と粉体物性・特性測定、粉体ハンドリ ングへの応用(計装測定分科会と合同開催)
3	2026.3.2	日本大学理工学部 タワー・スコラ	85	【通算 200 回記念本会合】 粉体ハンドリングに関する 4 件の講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.24	岩手	15	分科会体制、次回分科会計画
2	2025.12.2	東京	14	幹事交代、通算 200~202 回分科会計画
3	2026.3.2	東京	17	世話人人事、2026 年度第 1 回~第 3 回分科会の企画について

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2025 9.8~9.9	(株)ナノシーズ 名古屋	12	粉体・粒子の力学物性(付着力・剪断応力・粒子強度)に 関する講義と測定法の習得

7.2 粉砕分科会

登録会員数 544 人

(内藤牧男コーディネータ、加納純也副コーディネータ、石井利博代表幹事[アシザワ・ファインテック(株)]、森下隆
広副代表幹事[東洋炭素(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の 総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.11	京都/共栄製茶(株)	44	見学・講演会 「粉砕プロセスと粉体の流動特性」
2	2026.1.23	神奈川/AGC(株)	35 (73)	見学・講演会 「粉体プロセスの最新解析ツールと先進プロセスの動向」

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.11	奈良	15	幹事交代、次回分科会計画
2	2025.8.18	東京	5	幹事体制、次回分科会計画、粉体技術者養成講座計画
3	2025.10.15	大阪	12	粉体技術者養成講座、次回分科会計画
4	2025.12.26	東京	4	第 2 回分科会準備状況、次年度事業計画検討
5	2026.1.23	神奈川	13	第 2 回分科会の進め方、次年度事業計画検討
6	2026.2.13	東京	3	粉体技術専門講座の企画検討、2026 年度第 1 回分科会検討
7	2026.3.23	宮城	4	粉体技術専門講座計画、粉体技術者養成講座【粉砕】計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2025.11.12 ~13	ヴァーダー・サイエンティフィック (株)	15	粉砕とは？/粉砕装置の特徴、粉砕プロセスの 理解/粉砕プロセス解析のための DEM シミュ レーション/湿式粉砕の実際/基礎からわかる粉 砕機概論/粉砕技術の応用と今後の展開/粉 砕シミュレーション実習/粉砕機による粉砕実 験/講義と実験の整理と発表/総合討論

7.3 分級ふるい分け分科会

登録会員数 122 人

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.12.3	愛知(産総研中部センター)	現地 30 Web 1	セラミックス製造プロセスと粉体技術(見学と講演会) 産総研中部センターとの共催
2	2026.3.9	兵庫(日清製粉(株)東灘工場)	13 (40Web1)	製粉工場における粉体ハンドリング技術(見学と講演会) 集じん分科会との合同分科会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.04.21	Web	8	今年度の計画の策定
2	2025.12.03	愛知	6	第1回本会合の振り返り、第2回本会合の確認、2026年度以降の計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.4 乾燥分科会

登録会員数 98 人

(立元雄治コーディネータ、中川究也副コーディネータ、佐藤澄人代表幹事[月島機械(株)]、川上頼一副代表幹事[奈良機械製作所(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.23	北海道/北海道立工業技術センター	21	食品乾燥技術
2	2025.11.10 ~11	東京/日本大学理工学部	50	次世代技術と乾燥のコラボレーション (粉体工学会産学連携研究会と共催)

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.5.19	web	8	幹事体制、次回分科会計画、「粉体技術」誌特集進捗確認
2	2025.6.24	北海道	9	幹事体制、次回分科会計画
3	2025.11.11	東京	9	次回分科会計画、ロードマップ見直し
4	2026.2 予定	web	12	次回分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2025.10.30 ~31	静岡/(株)大川原製作所 技術センター	10	乾燥技術座学、実習

7.5 集じん分科会

登録会員数 215 人

(福井国博コーディネータ、野田直希副コーディネータ、中根隆一代表幹事[アマノ(株)]、木嶋敬昌副代表幹事[日本スピンドル製造(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.16	岡山中尾フィルター工業(株)	31	集じん用不織布フィルターの製造工程見学と講演
2	2025.10.17	インテックス大阪	100	POWTEX2025 併催行事「粉体機器ガイドランス」
3	2025.11.4	名古屋/ウイングあいち	49	第4回標準化セミナー「ろ布および乾式ろ過集じん装置の性能評価試験の標準化とその応用展開」
4	2026.3.9	日清製粉(株)東灘工場	28 (40)	製粉工場における粉体ハンドリング技術

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.16	広島	17	次回分科会計画
2	2025.11.4	愛知	15	次回分科会計画、幹事交代
3	2026.3.9	兵庫	19	次回分科会計画、幹事交代、2026年度事業計画及び予算説明

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2025.12.15 ～16	名古屋/ウインクあい ち	16	集じんの必要性と粒子分離の原則・評価法、各種集じん装置の概要と性能、電気集じん装置の特性と使用法、ろ過集じん装置の特性と設計法、局所排気装置の設計法、集じん装置の性能測定及びフード制御風速測定

7.6 混合・成形分科会

登録会員数 174人

(藤正督コーディネータ、森隆昌副コーディネータ、朝日正三代表幹事[㈱徳寿工作所]、
島田英明副代表幹事[㈱ダルトン])

1. 2025年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.5.20	埼玉/佐竹マルチミクス㈱	13	分散・混合(湿式プロセス分科会との合同)
2	2025.10.16	インテックス大阪	85	POWTEX2025 粉体機器ガイダンス
3	2025.12.5	神奈川/ライオン㈱	20	均一分散・攪拌技術とその応用

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.7.15	web	8	次回分科会計画、専門講座計画
2	2025.12.5	小田原	7	次回分科会計画、粉体技術者養成講座計画
3	2026.3.26	名古屋	10	次年度の分科会及び粉体技術者養成講座の計画など

(専門講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2026.2.4	新大阪カンファレンスセン ター	36	混合・成形プロセスの自動化とAI、IoTの活用

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2025.10.3	神奈川/(株)徳寿工作所	15	混合の基礎と実習

7.7 造粒分科会

登録会員数 472人

(村瀬和典コーディネータ、仲村英也副コーディネータ、小泉一郎代表幹事[㈱ダルトン]、石井隆司副代
表幹事[㈱アーステクニカ])

1. 2025年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.11.20	佐賀/岩尾磁器工業	23	岩尾磁器工業殿 施設見学会
2	2026.3.6	中央大学	54	技術討論会「造粒とは？粒子の表面改質・複合化粒子」

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.5.13	web	12	次回分科会計画
2	2025.6.26	大阪	10	次回分科会計画
3	2025.11.21	博多	12	次回分科会計画、幹事変更
4	2026.03.05	東京	13	技術討論会段取り、来期分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.8 計装測定分科会

登録会員数 264 人

(後藤邦彰副コーディネータ、武居昌宏副コーディネータ、池田英幸代表幹事[スペクトリス(株)マルバーン・パナリテ
ィカル事業部]、稲山良介副代表幹事[大塚電子(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の
総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.7.30	千葉/アシザワ・ファイ ンテック(株)	14(30)	見学・講演会(微粒子ナノテクノロジー分科会と合同)
2	2025.9.10	オンライン	46(87)	粉体技術者養成講座(微粒子ナノテクノロジー分科会と 合同)
3	2025.12.2	東京/同志社東京オフ イス	20(75)	計装測定講演会(粉体ハンドリング分科会と合同)

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.4.15	web	10	幹事変更、次回分科会計画
2	2025.7.4	web	13	幹事変更、次回分科会計画
3	2025.8.26	web	8	次回分科会計画
4	2026.2.6	web	11	次年度分科会計画

(専門講座) 開催なし

7.9 湿式プロセス分科会

登録会員数 180 人

(岩田政司コーディネータ、菰田悦之副コーディネータ、片桐誠之副コーディネータ、浅見圭一代表幹事[日本スピ
ンドル製造(株)]、宮本圭介副代表幹事[(株)アントンパール・ジャパン])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025. 5. 20	埼玉/佐竹マルチミクス(株)	22	佐竹マルチミクス(株)工場見学とスラリー等の講演会
2	2025. 7.11	北九州/TOTO(株)	27	TOTO(株)工場見学と講演
3	2025. 12.5	奈良/(株)墨運堂	19	墨製造工程見学、体験と講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.4.15	web	11	2024 年度分科会の報告、次回分科会計画、
2	2025.11.10	web	12	第 1,2 回分科会報告、粉体技術者養成講座、次回分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2026 2.4~2.5	大阪/関西金網(株)	12	講義:ろ過の基礎理論、ろ過装置の特徴と使用法、ろ材の 特徴と使用法、膜ろ過概論、粒子懸濁液の粘度と配管内 の圧損解析 実習:定圧ろ過実験(実験、および収集データのまとめ方)

7.10 クリーン化分科会

登録会員数 252 人

(並木則和コーディネータ、鍵直樹副コーディネータ、谷英明代表幹事[(株)竹中工務店]、神谷松雄副代表幹事
[(株)日立プラントサービス])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.8.21	つくば/新菱冷熱工業(株)	30	新菱冷熱工業イノベーションハブの見学と講演会

2	2025.11.6	古河市/日本バイリーン(株)	34	日本バイリーン東京工場の見学と講演会
---	-----------	----------------	----	--------------------

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.5.9	web	9	次回分科会計画
2	2025.9.2	web	8	次回分科会計画、POWTEX2025 紹介
3	2025.10.8	東京	8	次回分科会計画、ロードマップ、活動報告などの共有、幹事交代

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.11 環境エネルギー・流動化分科会

登録会員数 56 人

(成瀬一郎コーディネータ、小林信介副コーディネータ、細田博之代表幹事[㈱神鋼環境ソリューション]、長洋光副代表幹事[荏原環境プラント(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.24	香川	25	バイオマス発酵乾燥施設見学
2	2025.10.15	奈良	25	ごみ焼却施設見学、講演会
3	2026.1.8~9	鹿児島	20	再エネ地産地消を推進する施設見学

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.24	香川	13	次回分科会計画
2	2025.10.30	Web	8	次回分科会計画
3	2025.12.17	東京	14	2026 年度分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.12 晶析分科会

登録会員数 239 人

(白川善幸コーディネータ、正岡功士副コーディネータ、伊藤雅章代表幹事[ノリタケ(株)]、日置賢副代表幹事[味の素(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.7.25	広島/三菱ケミカル(株)	29	サステナブル技術の社会実装に向けて(講演会+見学会)
2	2025.12.17	川崎/味の素(株)	34	現象理解に基づく結晶品質の設計 (講演会+見学会)
3	2026.3.6	名古屋/JFCC	23	微構造解析における見える化技術(講演会+見学会)

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.4.7	web	9	次回分科会計画
2	2025.11.18	web	8	次回分科会計画、専門講座検討
3	2026.1.30	名古屋	3	2026年度分科会活動内容

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.13 微粒子ナノテクノロジー分科会

登録会員数 199 人

(渡邊哲コーディネータ、飯島志行副コーディネータ、池田純子代表幹事[マジェリカ・ジャパン(株)]、大原勝義副代表幹事[ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)]、鳥居経芳副代表幹事[スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカル事業部])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.7.30	千葉/アシザワ・ファイ ンテック(株)	18	分散とスラリー評価の実演+講演(基礎的な内容) 計装測定分科会と合同
2	2025.9.10	オンライン	41	計装測定分科会と合同「粉体技術者養成講座」
3	2026.1.23	神奈川/AGC 横浜テク ニカルセンター	37	見学会・粉砕分科会との合同 テーマ「粉体プロセスの最新解析ツールと先進プロセス の動向」

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.9.9	web	10	粉体技術者養成講座、ロードマップ改変、表彰、次回分科会企画
2	2025.12.9	web	3	分科会口座、次回分科会企画
3	2026.1.6	web	3	分科会口座、クレジットカード、来年度分科会企画、運営方法
4	2026.1.23	AGC 会議室	10	分科会最終打ち合わせ、副代表幹事決定、来年度分科会企画、運 営方法

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.14 電池製造技術分科会

登録会員数 400 人

(倉谷健太郎コーディネータ、駒場慎一副コーディネータ、堀越勝代表幹事[株パウレック]、尾崎哲也副代表幹事[東洋ハイテック(株)]、木村正人副代表幹事[株タナベ])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.06.27	東京	168	全固体電池
2	2025.10.23	大阪	143	定置用蓄電池
3	2026.02.05	名古屋	161	電池リサイクル技術

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.26	東京	12	幹事交代、次回分科会計画
2	2025.10.23	大阪	12	幹事交代、次回分科会計画
3	2026.02.05	名古屋	13	幹事交代、新幹事加入、次回分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.15 リサイクル技術分科会

登録会員数 400 人

(外川健一コーディネータ、伊藤真由美副コーディネータ、齊藤陽代表幹事[株タナベ]、水野裕太副代表幹事[高砂工業(株)]、大矢仁史名誉コーディネータ)

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.26	札幌/北海道大学	24	北海道大学 工学部 リサイクル講演会・見学会
2	2025.12.10	北九州/日鉄高炉セ メント(株)	31	最新の非鉄リサイクル技術 見学・講演会
3	2026.3.4	熊本/(株)カネムラエコ ワークス	29	資源リサイクル施設見学・最新技術 見学・講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.4.10	web	9	次回分科会計画
2	2025.6.26	札幌	10	北海道資源リサイクル工場視察、次回分科会計画
3	2025.12.10	小倉	10	次回分科会計画、2026 年度計画

4	2026.3.4	熊本	9	次回分科会計画
---	----------	----	---	---------

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.16 食品粉体技術分科会

登録会員数 219 人

(羽倉義雄コーディネータ、五月女格副コーディネータ、二宮隆志代表幹事[㈱日清製粉グループ本社]、

西村元樹副代表幹事[㈱西村機械製作所])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.7.11	北九州/TOTO(株)	20	湿式プロセス分科会と合同 衛生陶器のもの創りについての見学、ろ過分離技術の講演会等
2	2025.11.13	山梨/横河マニユファクチャリング(株) 甲府事業所	35	「食品工場の見える化 ～IoT 及び DX 技術の応用」をテーマに、食品工場における IoT、DX の展望、講演等

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.5.29	東京	10	次回分科会計画
2	2025.7.11	福岡	4	分科会振返り、次回分科会計画
3	2025.8.25	東京	7	次回分科会計画
4	2025.11.19	東京	10	分科会振返り、次回分科会計画、幹事変更
5	2026.3.11	東京	10	次回分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.17 粒子加工技術分科会

登録会員数 178 人

(竹内洋文コーディネータ、山本浩充副コーディネータ、田原耕平副コーディネータ、浅井直親代表幹事[㈱ダルトン]、伊藤有一副代表幹事[信越化学工業(株)]、根本源太郎[大川原化工機(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.27	福岡/沢井製薬(株)	55	沢井製薬第二九州工場様にて見学講演会
2	2025.10.2	リモート	79	シオノギファーマ様にて見学および講演会
3	2026.2.6	大阪/太陽ファルマテック	61	太陽ファルマテック様にて見学講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.26	博多	17	幹事変更、次回分科会計画
2	2025.10.1	web	16	第 2 回見学講演会役務確認、次回分科会計画
3	2025.10.29	新潟	17	製剤と粒子設計シンポジウム役務確認、次回分科会計画
4	2026.2.5	大阪	18	第 3 回見学講演会役務確認、次年度分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 教育部門

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2025.11.6 ～7	兵庫/(株)パウレック	12	粒子加工概説/粒子加工のための装置/造粒メカニズム/成形メカニズム/機能化のための粒子加工/粒子加工の実際 ガイダンス/実習

7.18 粉体シミュレーション技術利用分科会

登録会員数 375 人

(酒井幹夫コーディネータ、石神徹副コーディネータ、島田憲成代表幹事[㈱構造計画研究所]、

小澤和三副代表幹事[日清エンジニアリング(株)])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.24	名古屋/JFCC	21	「粉体のプロセスインフォマティクスに貢献する数値シミュレーション技術の最先端」 合同分科会(粒子積層技術分科会)
2	2025.7.2~3	姫路/アクリエひめじ	-	DEM10
3	2025.10.1~17	インテックス大阪	85	POWTEX2025「粉体シミュレーションセミナー」

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.5.26	東京/web	20	次回分科会計画、幹事交代
2	2025.10.16	大阪/web	20	今年度の活動の振り返りと今後の活動計画
3	2026.3.3	東京/web	18	今年度の振り返りと来期計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.19 粒子積層技術分科会

登録会員数 281 人

(山村方人コーディネータ、瀬戸章文副コーディネータ、中尾修也代表幹事[㈱村田製作所]、

中村圭太郎副代表幹事[㈱日清製粉グループ本社])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.6.24	愛知/JFCC	22	計算科学と PI (粉体シミュレーション技術利用分科会と合同)
2	2025.11.17	福島/㈱東北村田製作所	23	LIB プロセスにおける粒子積層技術

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.04.09	Web	9	第 1 回分科会について
2	2025.09.26	Web	10	第 2 回分科会について
3	2026.03.13	Web	9	来期の計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

7.20 バイオ粒子プロセス分科会

登録会員数 107 人

(野村俊之コーディネータ、荻崇副コーディネータ、片山和彦代表幹事[日本たばこ産業㈱]、

秋山聡副代表幹事[日清エンジニアリング㈱])

1. 2025 年度の事業実績概要

1-1. 実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体技術者養成講座(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.11.20	京都/京都市産業技術研究所	31	セルロースナノファイバーとバイオプロセス
2	2026.1.29	滋賀/三井化学クロップ&ライフソリューション(株)	24	農業分野における粉体技術

(幹事会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2025.7.15	Web	6	次回分科会計画、幹事交代

2	2025.10.8	Web	9	次回分科会計画
3	2025.11.20	京都	5	分科会役割確認、次回分科会計画、次年度以降分科会計画
4	2026.1.29	滋賀	5	分科会役割確認、次年度以降分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座) 開催なし

8. 粉体工業技術センター(角井寿雄センター長、前田孝善副センター長)

8.1 教育部門(松坂修二マネジャー、白川善幸、藤井淳各副マネジャー)

2025年度の教育部門の活動状況は、下表のとおりである。教育部門会議は12月に開催し、2025年度活動状況、2026年度講座計画を確認した。また、2026年度より新設する粉体基礎講座について内容を検討し、講座レベル図の見直しを行った。

1. 2025年度の事業実績概要

講座名とタイトル		開催日	開催場所	参加人数
粉体入門セミナーⅠ(第74回)		2025.6.4~5	東京/アーバンネット神田カンファレンス	75
粉体入門セミナーⅡ(第75回)		2025.6.18~19	東京/アーバンネット神田カンファレンス	60
粉体入門セミナーⅢ(第76回)		2025.7.16~17	東京/アーバンネット神田カンファレンス	69
粉体技術者養成講座	粉体ハンドリング	2025.9.8~9	名古屋/(株)ナノシーズ	12
	混合	2025.10.3	神奈川/(株)徳寿工作所	15
	乾燥	2025.10.30~31	静岡/(株)大川原製作所 技術センター	10
	粒子加工	2025.11.6~7	兵庫/(株)パウレック イノベーションセンター	12
	粉砕	2025.11.12~13	東京/ヴァーダー・サイエンティフィック(株)	15
	集じん	2025.12.15~16	名古屋/ウインクあいち	16
	ろ過	2026.2.4~5	大阪/関西金網(株)	12
第73回粉体技術専門講座(混合・成形分科会)		2026.2.4	大阪/TKP 新大阪カンファレンスセンター	36
粉じん爆発・火災安全研修[初級・基礎編]		2025.9.1~2	ハイブリッド研修 東京/種苗会館6階より配信	93 (現地20、WEB73)

2. 実施した会合、会議

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.12.18	京都/協会本部会議室 およびWEB	13	粉体入門セミナーについて確認/講師不在時の対応 新講座内容検討/粉体技術専門講座の運営方法 修了証内容確認/粉体技術者養成講座について確認 2026年度事業計画 起案

8.2 製造事業部門(前田孝善マネジャー)

1. 2025年度の事業実績概要

1-1 売上高・支出の推移(単位:千円)

	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績
売上	92,447	92,000	92,467
売上前年度比(%)	106.0	99.5	100.0
事業費(支出)	68,323	67,350	67,633
収支差	24,124	24,650	24,834

1-2 2025年度の重要項目の状況

1) 実績

売上 92,467 千円(予算比 100.5%、前年度比 100.0%)、利益(収支差)24,834 千円(予算比 100.7%、

前年度比 102.9%)である。

- 2) 2025 年 4 月に労働安全衛生法において SDS(安全データシート) 対象化学物質や記載方法などの更新があり、これに沿って協会 SDS の全面的な見直しを行った。また、SDS の発行は、ユーザーの便宜などを図るため、ホームページからダウンロード可能となるよう整備した。
- 3) 石松子の販売再開
仕入先の在庫不足により一昨年から販売を中止していたが、新たな仕入れ先が確保できたため、2025 年 7 月 7 日より販売を再開した。

8.3 産学技術交流推進部門 (後藤邦彰マネジャー、山本浩充副マネジャー)

1. 2025 年度の事業実績概要

- 1) 技術相談 2025 年度申込み数 22 件(うち面談に発展 6 件 うち 技術指導へ移行 0 件)
- 2) APPIE 産学官連携フェア 2025
フェア終了後から POWTEX®2025 オンライン展の期間中、HP でシーズポスターの公開を行った。
- 3) テクノマルシェ～名刺交換会～
APPIE 産学官連携フェア 2025 のシーズ、ニーズ参加者が名刺交換を行い交流する場として開催。

2. 実施した会合、会議について

回	日程	場所	人数	議題
1	2025.7.18	京都/協会本部会議室および WEB	9	1.2025 年度産学技術交流推進部門事業計画 2.APPIE 産学官連携フェア 2025&テクノマルシェ 3.技術相談報告
2	2025.9.19	京都/協会本部会議室	8	1.APPIE 産学官連携フェア 2025&テクノマルシェ 2.技術相談報告
3	2026.3.23	京都/協会本部会議室	9	1.委員会・部門連絡会議報告 2.APPIE 産学官連携フェア 2025&テクノマルシェアンケート結果確認 2.PX シーズ賞受賞記念特別講演会内容検討 3.技術相談報告

9. 技術情報交流懇話会

9.1 火曜会(東京)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
308	2025.4.8	東京スクリーン(株)	89	東京ガーデンパレス	「知的財産制度の基礎と、外国で知的財産権を取得する意義」	弁理士法人柳野国際特許事務所 代表弁理士 柳野嘉秀氏
309	2025.7.8	日本エリーズマグネチックス(株)	101	同上	「技術と行動が融合するエシカルな繊維産地に向けた福井大学の挑戦」	福井大学 学術研究院工学系部門准教授 岡田敬志氏
310	2025.10.7	(株)増野製作所	103	同上	「今どきの若手、どう接する？ リーダーが知っておきたい“世代間コミュニケーション術”～“ゆとり”“Z 世代”と信頼関係を築くヒント～」	(株)スマイルボイス 代表取締役 倉島麻帆氏
311	2026.1.13	日清エンジニアリング(株)	136	同上	「宇宙開発における粉体技術の貢献と将来展望」	早稲田大学 名誉教授 川本広行氏

9.2 水曜会(名古屋)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
79	2025.6.25	ツカサ工業(株)	56	名鉄グランドホテル	「デジタルツイン技術が社会を変える –メタバースとゴーストエンジニアリング–」	愛知県立大学 情報学部教授 小栗宏次氏
80	2025.10.29	日本粉体工業技術協会	38	同上	「もめない円満事業承継で 100 年企業を創る」	TOMA コンサルタンツグループ(株) 代表取締役会長 藤間秋男氏
81	2026.2.18	中央化工機(株)	45	同上	「材料分野の電化とマイクロ波加熱装置」	中部大学 工学部 准教授 檜村京一郎氏

9.3 木曜会(大阪)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
232	2025.5.15	(株)西村機械製作所	75	ANA クラウンプラザホテル大阪	「もめない円満事業承継で100年企業を創る」	TOMA コンサルタンツグループ(株)代表取締役会長 藤間秋男氏
233	2025.9.11	アイシン産業(株)	82	同上	「企業の組織変革に向けたエンゲージメントを高める1on1と実践型コーチングの本質とは？」	コーチ・コントリビューション株式会社 代表取締役会長 市丸邦博氏、執行役員 藤田康子氏
234	2025.12.11	ユーグローブ(株)	97	大阪ガーデンパレス	「組織と個人を取り巻くリスクの科学的管理」	関西大学 社会安全学部 教授/日本リスクマネジメント学会 理事長 亀井克之氏

9.4 金曜会(福岡・広島)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
77	2025.7.4	(株)マツシマメジャテック	30	福岡ガーデンパレス	「インシデント事例から見るDX時代に必要なセキュリティ対策」	(株)ソルネット サービス事業 クラウドセキュリティサービス部 森本健氏
78	2025.11.28	戸田工業(株)	38	広島ガーデンパレス	「酸化鉄材料のご紹介」・「MLCC 用誘電体材料のご紹介」・「環境貢献材料のご紹介」	戸田工業(株) 創造本部 横田昌幸氏・三谷佳史氏 高橋真司氏
79	2026.3.6	華為技術日本(株)	35	福岡ガーデンパレス	「中国半導体産業の動向とCMP産業の展望」	グローバルネット(株) 代表取締役 武野 泰彦氏

10. 共催・協賛および後援行事(2025.4.1~2026.3.31)

10.1 共催 1件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第42回エアロゾル科学・技術研究討論会	2025.8.27~8.29	兵庫/姫路商工会議所	日本エアロゾル学会

10.2 協賛 14件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第42回空気清浄とコンタミネーションコントロール	2025.4.22~4.23	東京/早稲田大学国際会議場	(公社)日本空気清浄協会
産学人材育成パートナーシップ事業	2025.4月~2026.2月	東京・千葉・オンライン	(公社)化学工学会
色材セミナー	2025.6.4	オンライン開催	(一社)色材協会 関西支部
2025年度粉末冶金講座	2025.6.6~12.2	ハイブリッド開催 京都/京都経済センター	(一社)粉体粉末冶金協会
2025年度第1回講演会	2025.6.13	オンライン開催	(一社)日本塗装技術協会
第41回現代コロイド・界面化学基礎講座	2025.6.12~6.13 2025.7.3~7.4	大阪:大阪産業創造館 東京:同志社大学東京オフィス	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
第22回技術講演会	2025.7.24~7.25	神奈川/湘南ヘルスイノベーションパーク	新製剤技術とエンジニアリングを考える会
粒子・流体プロセス技術コース2025	2025.8.26~9.25	サテライト実習(九州工業大学、新潟大学、群馬大学)	(公社)化学工学会 粒子・流体プロセス部会流動層分科会
第66回顔料入門講座	2025.8.28~29 9.4~9.5	オンライン開催	(一社)色材協会
INCHEM TOKYO 2025	2025.9.17~9.19	東京/東京ビッグサイト	(公社)化学工学会 (一社)日本能率協会
第49回基礎化学工学演習講座	2025.10.10	愛知/(株)三進製作所	(公社)化学工学会東海支部

第 27 回 関西コロイド・界面 実践講座	2026.1.10	京都/同志社大学今出川校地	日本化学会 コロイドおよび界面化 学部会関西支部
nano tech 2026 第 25 回国 際ナノテクノロジー総合展・ 技術会議	2026.1.28 ～1.30	東京ビッグサイト	nano tech 実行委員会
GMPセミナー	2026.2.5 ～2.6	大阪/大阪科学技術センター	(公社)化学工学会 関西支部

11. 刊行物

11.1 「粉体技術」

編集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会
発行 (一社)日本粉体工業技術協会
月刊誌 (1,500 円・税別) (A4 版 約 100 ページ 約 1,500 部/月)

11.2 日本粉体工業技術協会 事業案内(和文 2025 年度版) A4 版 16 ページ

編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行 2025 年 8 月(400 部)

11.3 第 74 回粉体入門セミナー I テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
共催 (一社)粉体工学会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2025 年 6 月 4 日(A4 版/180 ページ/92 部)

11.4 第 75 回粉体入門セミナー II テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
共催 (一社)粉体工学会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2025 年 6 月 18 日(A4 版/178 ページ/76 部)

11.5 第 76 回粉体入門セミナー III テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
共催 (一社)粉体工学会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2025 年 7 月 16 日(A4 版/227 ページ/84 部)

11.6 粉体技術者養成講座 第 5 回[粉碎]

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2025 年 11 月 12 日(A4 版/112 ページ/29 部)

11.7 粉体技術者養成講座 第 6 回[集じん]

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2025 年 12 月 15 日(A4 版/107 ページ/24 部)

11.8 粉体技術者養成講座 第 7 回[ろ過]

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2026 年 2 月 4 日(A4 版/171 ページ/25 部)

11.9 APPIE 産学官連携フェア 2025 シーズ集

編集/発行所 (一社)日本粉体工業技術協会 APPIE 産学官連携フェア実行委員会
発行 2025 年 10 月 16 日(A4 版/52 ページ/220 部)

11.10 粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】 ppt 資料印刷

主催(一社)日本粉体工業技術協会/(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
企画(一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会
後援(公社)産業安全技術協会
発行 2025 年 9 月 1 日(A4 版/150 ページ/130 部)